

3年 1組 道徳学習指導案

- 1 主題名 友だちになる < 内容項目： B 友情、信頼 >
 2 教材名 友だち屋 < 出典 光文書院 >
 3 主題構成表

<p>◆内容項目 B 友情、信頼</p> <p>友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと</p>	<p>◆価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学年における「友達」は低学年に比べ、身近な遊び友達という範囲からやや拡大した友達関係になってくる。一人一人お互いに個性があり、その持ち味もものの見方・考え方も異なっている。この違いを互いに理解し合い支え合い学び合って成長していくことが大切である。 ・一緒に遊んだり学んだりするなど共に活動する中で相手のことを理解し合う素地が整い、信頼へと育っていく。そして自然に助け合いが生じてお互いに高め合っていくとする心情を育てたい。 ・友達を単なる遊び相手としてだけではなく、互いにより影響を与え合う大事な関係を形づくるものとして意識させ、お互いに相手を理解し、励まし合い協力し合うことによって自らを伸ばしていこうとする意欲をもつ。 	<p>◆教材の分析</p> <p>《自己をみつめる場面》 クマさんに無理やりイチゴを食べさせられながらも、同調している姿や、オオカミさんにお金を要求する姿から、自分の中にある友達観をみつめなおす。</p> <p>《価値の本質に迫る場面》 クマとオオカミがもつ友達観の違いを比較することで、友達とは何かを考えさせる。クマは自分の好物は相手も好物だと勝手に思い込んでいる。一方、オオカミの態度は乱暴だが、一緒に遊んでいる姿は対等である。本当の友達とは、互いに相手を思いやれる対等な関係であることを理解させる。</p> <p>《自己の生き方を示す場面》 スキップしながら帰るキツネは何か変わったのかを考えることで、自分自身の友達観をみつめ、いい友達になれる自分づくりへ向かう態度を育む。</p>
<p>◆内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間にはドッジボールやおにごっこなど、気の合う友達同士で仲間をつくって楽しむとする姿が多くみられる。 ・仲間が間違っただけの言動をしていると感じたとき、しっかりと相手に指摘でき、それを素直に受け止めることができる児童が多い。 ・決まった仲間としか遊ばない姿が目立つ。あまり遊んだことのない仲間に、自分から声をかけることが苦手な児童が多い。 <p>◆要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲の良い友達には安心感があり、自分を解放して接することができるが、あまり関わりのない子への接し方が分からない。 ・自分にとって都合のいい相手が友達だという意識が強く、自分が新しい友達、いい友達になろうという意識は低い。 		

◆本時のねらい
 本当の友達とは、互いに相手を思いやれる対等な関係であることに気付き、お互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を自ら築こうとする態度を育む。

<p>◆ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クマとオオカミの場面におけるキツネの気持ちをそれぞれ考えることによって、相手によっては違うことを感じる友情観に気付く。 ・クマとオオカミとどちらの友達になりたいかについて根拠とともに仲間と意見を交流する。キツネの気持ちを考えることによって、本当の友達とは何かを考える。 ・スキップしながら帰るキツネの気持ちを考えることによって、友達の価値について気付く。(考えを深める補助発問) ・友達になるときに大切なことは何かを考えさせることで、自分をみつめ、今後の学校生活、自らの生き方を考える。 <p>◆ 人権教育との関わり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考え、互いに理解し合うこと。【認識力】 ・思い込みで相手を決めつけるのではなく、相手の気持ちや友達に対する考え方をすることで、よりよい友達関係をつくろうとする。【自己啓発力】 ・学んだことを通して、今後の友達関係に生かす。【行動力】 	<p>◆基本の発問(◎中心発問)</p> <p>○クマとキツネの関係は？ 友達？友達じゃない？</p> <p>○オオカミとキツネの関係は？ 友達？友達じゃない？</p> <p>◎クマとオオカミ、どちらと友達になりたいですか？</p> <p>□友達になるときに大切なことはなんだろう？</p>
---	---

4. 学習指導過程

	主たる発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1 価値への方向付けをする。</p> <p>○事前アンケートの結果を見てみましょう。</p> <p>Q1「友達はいますか？」 はい…21名 いいえ…0名</p> <p>Q2「友達が必要ですか？」 はい…18名 いいえ…3名</p> <p>Q3「友達ってどんな人のことを言いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊んでくれる。 いつもそばにいてくれる。 困った時に助けてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に関する理解を確かめ、終末に自己の生き方について考える時の材料とするためのアンケートを現在のクラスみんなの考え方として提示する。 「友達」に自分がしてもらいたいばかり望み、自分が友達にどんなことができるのかについては考えが浅いことを終末に振り返る。
展開前段	<p>2 教材「友だち屋」を読んで話し合う。</p> <p>○キツネとクマの関係はどのような関係ですか。</p> <p>〈友達〉</p> <ul style="list-style-type: none"> イチゴを嬉しそうに食べている。 <p>〈友達じゃない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> キツネが無理をしている。 キツネは楽しそうじゃない。 <p>○オオカミとキツネの関係はどのような関係ですか。</p> <p>〈友達〉</p> <ul style="list-style-type: none"> キツネと楽しくトランプをしていた。 キツネのために怒ってくれた。 大切にしているミニカーをくれた。 <p>〈友達じゃない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> オオカミの話し方が怖い。 <p>○クマとオオカミ、どちらと友達になりたいですか。</p> <p>〈クマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒にイチゴが食べられるから。 クマの方が優しい。 <p>〈オオカミ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のために怒ってくれたから。 キツネがクマには無理をしているけど、オオカミには無理をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料提示では、読み物だけではなく、場面絵を示すことによって資料への共感を高める。 キツネとクマ、キツネとオオカミの関係性については、いろいろな意見が予想されるがそれぞれの立場の意見をどれも認めるようにする。 <p>認識力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※クマとオオカミと接するキツネの様子から、友達とは対等な関係性であることに気づく。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 主発問は理由をつけて自分の考えを言えるように時間をしっかり確保したい。そのために、ワークシートに考えを記入させてから全体交流を行うようにする。 展開後段の前に、自分はクマかオオカミかどちらのタイプか問うことによって、展開後段の内容をと考えやすくさせたい。 様々な意見を認めたくて、価値に迫る発言が出てこなかった場合は、スキップしながら帰るキツネの気持ちを考えさせることによって、キツネはオオカミとの関係が心地よかったことに気づかせたい。
展開後段	<p>3 自分の生活に立ち返り、友達との関わり方について考える。</p> <p>□友達になるときに大切なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手のしたい遊びを一緒にしたい。 自分も相手も楽しくなるようにしたい。 相手の好きなものを知りたい。 <p>《説話》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分（教師）の友達の紹介 <p>→仲がいい お互いが友達だと思っている</p> <p>→いつも一緒にいるわけではない</p> <p>→嫌なことはいっぱい言うし、喧嘩もする</p> <p>→でも彼女のいいところは誰よりも知っている</p> <p>→何かあったら彼女のために何でもしたいと思っている</p> <p>→いつも側にいて話していなくても友達</p>	<ul style="list-style-type: none"> 展開後段は以下の通りを行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① ワークシートに自分の考えを記入する。 ② グループ交流を行う。 ③ 全体交流を行う。 <ul style="list-style-type: none"> グループ交流を行うことによって、全体交流の場で発言できない子が、少人数グループの中で自分の考えや気持ちが発言しやすくなる。また、多様な考え方や感じ方に触れ、深めることができる。 <p>自己啓発力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※思い込みで相手を決めつけるのではなく、相手の気持ちや友達に対する考え方を知ることで、よりよい友達関係をつくろうとする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書いてあることを読み合うだけでなく、最初に持った自分の考えと仲間の考えを比べたり、自分の考えがどうなったかを発表したりするとよいことを指導する。